

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人長岡福祉協会	代表者	田宮 崇	法人・事業所の特徴	「要介護状態になっても地域とのつながりを絶やさない」「地域の中の施設」をコンセプトにしています。介護が必要になった人が家族や地域とのつながりを保ちながら、生活を送れるように「通い」「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態を本人、家族の希望に合わせ柔軟に組み合わせ利用できます。「通い」「訪問」「泊まり」どのサービスを利用していてもいつも顔なじみのスタッフがケアを行います。少人数登録制のため家庭的な雰囲気での他の利用者・スタッフと楽しく過ごすことができ認知症の方も不安なく過ごすことができます。
事業所名	小規模多機能型居宅介護撰田屋	管理者	木村伸彦		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	4人	1人	1人	1人	1人	3人	0人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 個別サービス計画に沿った援助を1つ1つ確実にいき、評価・実施していく。 日々の関わりの中で、ご利用者に積極的に話しかけ、ご利用者の意向、ニーズを理解できるように努める。関わりが難しいご利用者にも、職員間で情報共有を行い、様々なアプローチを考えていく。 事業所ミーティング等でも意見交換を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 目標の確認や評価が確実に出来るよう経過記録を見直した。 会話の中から「～したい」と意向を確認し、援助に活かすことが出来た。ミーティングでモニタリングを通じニーズの把握や関わり方を考え、質の向上につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体的に改善計画が抽象的ではないでしょうか。評価しやすい小さな計画(目標あつての計画)で良いように思います。 自己評価する際の手順やマニュアルがあるといいと感じた。 	職員全員で事業所の改善計画を理解して業務に取り組む。ミーティングで改善計画の取り組み状況を把握する。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 生活様式の中で季節の飾りつけや、頂いた花をフロアに飾り付ける等、普段とは異なる雰囲気を楽しんで頂けるように環境を整えていく。 地域ボランティアとの関りは継続していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設内の装飾等は春夏秋冬や行事ごとが分かるように工夫して行えた。また、バルコニーから花を鑑賞できるようにしたり、ご利用者と一緒に花上の体験も行えた。 例年通り花のボランティアの方との関りは継続して行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続して環境整備に取り組み、飾りつけを充実させていきたい。 ご利用者と一緒に飾り付けや雰囲気づくりをより積極的に行って行きたい。 	ご利用者と一緒に季節を感じられる飾りつけや作品づくりを楽しみながら行う。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの流行は収まらず、地域の方との交流を持つことが難しいが、挨拶を行い、広報誌の配布等、地域との関ることを続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方と積極的にご挨拶し関係性作りに努め、お声掛けいただきやすい雰囲気づくりを心掛けた。 広報誌を配布し、施設の情報発信を行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き挨拶を行うことは継続的に行い、関りを持っていきたい。 計画は継続的に行ってよいと思う。 	地域の方と関係性を継続できるように挨拶や広報誌等に力を入れながら、園の対応を確認し今後の取り組みを柔軟に検討する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行は収まらず、地域の方との交流を持つことが難しいが、挨拶を行い、広報誌の配布等、地域との関ることを続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方との関係性を継続しお声掛け頂きやすい雰囲気づくりに努めた。 ・ケアマネを中心に地域の集まりにも参加し、広報誌等も配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を継続し、園の対応を確認しながら都度今後の取り組みを柔軟に検討していきたい。 	<p>地域の方と関係性を継続できるよう挨拶や広報誌等に力を入れながら、園の対応を確認し今後の取り組みを柔軟に検討していく。</p>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<p>職員一人一人が回覧物等を通して運営推進会議の内容を理解し、運営推進会議を通して地域の方と話し合える環境を継続して作り上げていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の回覧等を通して、運営推進会議の内容を確認し、情報共有を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して運営推進会議に寄せられるご意見等をしっかりと確認し情報の共有に努めていきたい。 	<p>運営推進会議で出た意見を事業所会議の議題として取り上げ改善に努める。</p>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの流行状況を踏まえ、実行できる方法を模索しながら、防災・災害対策計画をもとに地域と事業所が一带となって取り組み協力体制を継続していく。 ・訓練の際は家族にも連絡、報告を行い、地域住民の方にも参加をお願いする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の為、防災・災害訓練を地域の方と行うことが出来なかったがセンターとして実施している訓練の様子は運営推進会議を通し発信している。 ・施設職員間では訓練を行えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を継続し、園の対応を確認しながら都度今後の取り組みを柔軟に検討していきたい。 	<p>事業所や地域の防災・災害対策を地域の方と情報を共有する。園の対応を確認しながら今後の取り組みを柔軟に検討していく。</p>